

8月13日(土)必着
FAXもしくは郵送にて
FAX:0285-64-0209

車両構造申告書
【市販車クラス用】

ゼッケン

事務局が記入

参加クラス	市販車クラス	記入者名 <small>(チーム員とします)</small>
チーム名	連絡先TEL	- -

参加車両(車種/型式/車体番号)

車種(名称) 例:スーパーカブ	型式	車体番号	市販時の諸元 <small>該当するものに を付けてください。</small>	
			燃料供給方式	キャブ・燃料噴射
	車体		タイヤサイズ	フロント インチ リア インチ
	エンジン			

取り外し部品(該当するものに を付けてください。)

	フロントフェンダー	レッグシールド
	リアフェンダー	スピードメーターケーブル
	フロントキャリア	灯火類
	リアキャリア	

【市販車クラスにて変更が認められる箇所】

上記部品
タイヤは市販状態で装着されているものと同じサイズ、規格であれば市販品に限り使用できます。
但し、スリックタイヤの使用は禁止します。
キャブレターのジェット類は、Honda純正部品に限り変更が認められます。
スプロケットは、Honda純正部品に限り、番数・丁数の変更が認められます。
バックミラーは左右どちらか片側だけでも可。但し、型式認定時のもの、またはHonda純正部品を使用してください。

上記にあてはまる部品・用品以外の取り付け、取り外し・変更は認められません。
風防、カウル、ホイールカバー類の装着、排気管の交換、チェーンカバーの取り外しなども禁止となります。

『型式認定時の基本構造』
当該機種の製品カタログや、本田技研工業㈱から発行されているサービスマニュアル、パーツリストに記載されている主要諸元が『型式認定時』の基準となります。

燃料系統図

燃料噴射装置付の市販車(型式JBH-AA01エンジン型式AA02Eなど)で出場される場合、主催者が貸与する公式燃料タンクを使用するための構造変更を申請する必要があります。キャブ車は不要。以下にその作動構造及び理論的根拠を詳しく記入してください。



燃料タンク

エンジン

(注1) 燃料系に使用するチューブ(補強のないもの)及び耐圧ホース(補強のあるもの)は、材質と色を明記すること。
(注2) 公式燃料タンクへの空気加圧、及び燃料配管の燃料に対して空気タンクの空気が直接燃料に触れる加圧・減圧構造は認められません。

誓約欄

私達のチームは「第3回 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2011 もてぎ大会」へ参加するにあたり、大会規則を遵守し、適合する車両にて参加することを誓います。

チームマネージャー氏名 _____

燃料系統重量計測希望

希望します。	希望しません。
--------	---------

どちらかに をつけて下さい